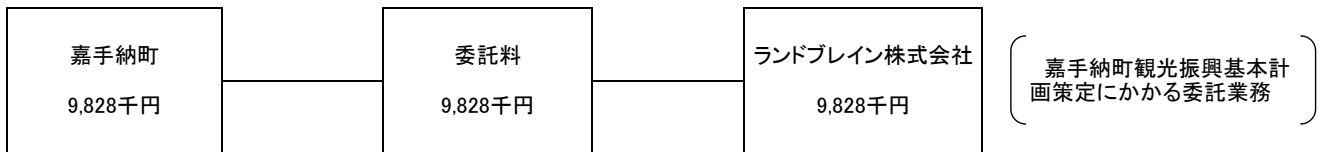


市町村名		嘉手納町				
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	1-①		嘉手納町観光振興基本計画策定事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(2)-イ
	担当部署名	総務部 企画財政課		事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所
事業内容	通過型の観光から滞在型の観光への転換を効率的かつ効果的に実施するため、嘉手納町の観光の現状、課題分析、ニーズ調査や地域資源調査を行い、本町の歴史・文化財、自然、人材、施設などの資源を活用した観光振興を中長期的に推進するための基本的な計画を策定した。					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）					
予算額・執行額 【単位：千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		(a) 当初予算額	10,391			
	(b) 予算現額	9,828				
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 563				
	(d) 前年度繰越額	—				
	A. 計 (b+d)	9,828				
	B. 執行済額	9,828				
	うち交付金充当額	7,800				
	次年度繰越額	0				
	執行率 (%) (B/A)	100.0%				
予算の状況の説明	年度内で執行済み。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況				
		24年度	25年度	26年度	27年度	
	嘉手納町観光振興推進に向けた基本計画の策定	目標	(基本計画策定)	()	()	()
		実績	基本計画策定			
		目標	()	()	()	()
		実績				
達成状況説明	平成24年度で基本計画策定まで至った。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
		目標	()	(基本計画策定)	()	()
	実績		基本計画策定			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()
		実績				
	進捗状況説明	平成24年度内に策定完了している。 観光振興基本計画には、町の観光に関する課題のあらい出しや施策の検討といった内容を盛り込んでおり、今後、町の観光産業の促進の基として活用し、観光産業の活性化、誘客促進を図る。				

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	町民を交えてのワークショップの実施や町内アンケートも実施しており、地域のニーズに対応した基本計画が策定できたと考える。	アンケートにおいては、町内だけでなく、町外の意見も取り入れており、町内外のニーズに対応した基本計画が策定できたと考える。
今後の取り組み方針		
<p>今回策定した観光振興基本計画を軸に、様々な観光振興政策を展開していく。 現在、想定しているものは、道の駅かでのリニューアルやカヌーを利用した自然体験施設の整備である。</p>		

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
9,828	9,828	7,800	2,028	0



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託業者はプロポーザル方式により選定しており、妥当であると考えます。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		嘉手納町					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	嘉手納町かでな文化センター機能向上事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(2)-イ	
担当部課名	嘉手納町教育委員会 社会教育課	事業実施（予定）年度	平成24～27年度		沖縄振興基本方針該当箇所	中部圏域 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	滞在型の観光振興の促進を図るため、既存アナログ設備を時代のニーズに適合した活用のできる設備へと機能を拡充するとともに、多くの方々から多くの改善の要望が寄せられている施設のバリアフリー化の基本設計を実施した。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	274,754				
		(b) 予算現額	273,840				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 914				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	273,840				
	B. 執行済額		273,840				
	うち交付金充当額		218,570				
	次年度繰越額		0				
	執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		年度内に執行済み。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	設備機能向上工事实施設計及びバリアフリー化基本設計の実施	目標	（ 機能向上工事实施等設計 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績	機能向上工事实施等設計				
	舞台照明設備工事及び音響設備工事の実施	目標	（ 設備工事実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績	設備工事実施				
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・設備機能向上工事实施設計を実施した。 ・バリアフリー化基本設計を実施した。 ・舞台照明設備工事を実施した。 ・音響設備工事を実施した。 						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	設備機能向上工事实施設計書、バリアフリー基本設計書の作成	目標	（ ）	（ 機能向上工事实施等設計書作成 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実績		機能向上工事实施等設計書作成			
	舞台照明設備、音響設備の機能改善	目標	（ ）	（ 設備機能改善 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実績		設備機能改善			
	進捗状況説明	<p>予定どおり事業実施し完了に至った。 アナログからデジタルへ機能向上したことで、舞台演出等の高度な要望にも対応可能となった。又、パソコンに機器の不具合が表示されるので、迅速な対処が可能となった。</p>					

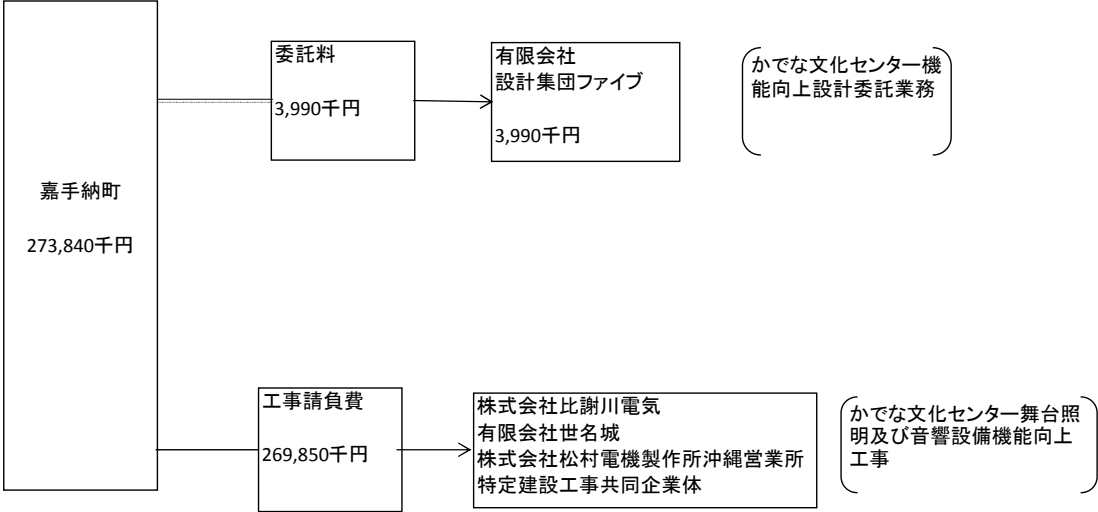
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	設計及び工事は、計画どおり、実施することができたので、課題なしと判断する。	設計及び工事は、計画どおり、実施することができた。

今後の取り組み方針

滞在型の観光振興を図るため、今後は様々なニーズに応えられるよう基盤を整備し、広報、誘致を積極的に取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金		交付対象 外経費
		市町村	交付金	
273,840	273,840	55,270	218,570	0



資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	複数の業者から見積もりをとり、事業内容に合った適正な価格の確認をした。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		嘉手納町					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑤	嘉手納町観光リーフレット作成事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(2)-イ	
担当部署名	建設部 産業環境課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	中部圏域	Ⅲ-1-(1)	
事業内容	広く国内外へ道の駅かでな及び嘉手納町の観光情報を発信し観光客の誘客を図るため、日本語・外国語版の観光リーフレットを作成する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	7,350				
		(b) 予算現額	7,350				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	7,350				
	B. 執行済額		7,056				
	うち交付金充当額		5,550				
	次年度繰越額		0				
	執行率（%）(B/A)		96.0%				
予算の状況の説明		年度内で執行済み。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	観光リーフレット作成業務の実施	目標	（ 作成業務の実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績	作成業務の実施				
		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績					
達成状況説明	道の駅を中心に広く国内外へ嘉手納町の観光情報を発信し観光客の誘客を図るため、日本語・外国語版の観光リーフレットを作成した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	観光リーフレット作成製本	目標	0	（ 50万部 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実績		50万部			
	【参考指標】		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
			実績				
	進捗状況説明	嘉手納町を広く国内外へPRするために、観光リーフレットを作製製本した。道の駅かでなを中心にリーフレットを置き、観光客に向けて配布している。					

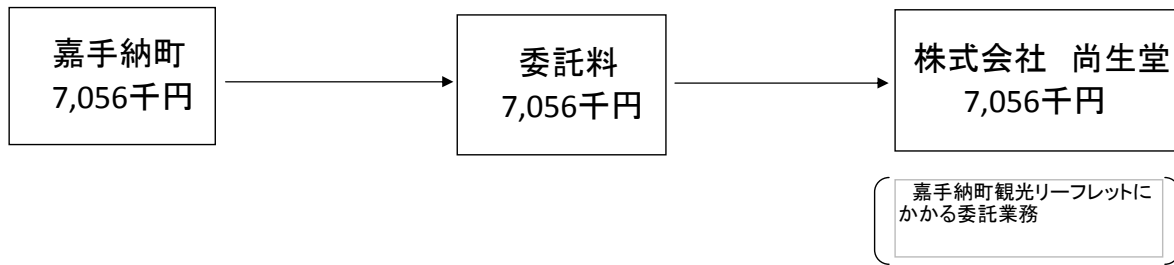
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	嘉手納町の観光施設である道の駅かでなには、年間約50万人の観光客が訪れている。今回リーフレットに掲載する情報が、観光客のニーズがあったか検証していく必要があった。	今後アンケートやネットを使い、観光客に魅力ある情報を調査し、発信していくことで、多くの観光客が嘉手納町を訪れるきっかけをつくらなければならない。

今後の取り組み方針

ホームページや観光リーフレットなど、情報発信を強化していき、観光客が嘉手納町を訪れるきっかけをつくる。また観光リーフレットを県内の観光施設に配布し、広く嘉手納町をPRし、観光客に周知していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
7,056	7,056	5,550	1,506	0



資金の 使途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託業務は指名入札で行い妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	嘉手納町						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑥	嘉手納町比謝川緑地広場整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(2)-イ	
担当部署名	建設部 都市建設課	事業実施（予定）年度	平成24～26年度		沖縄振興基本方針該当箇所	中部圏域 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	体験型・滞在型の観光振興の強化を図るため、現在、エコツアーを開催している比謝川において観光客や施設利用者の利便性を高める受入基盤の整備を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	20,400				
		(b) 予算現額	20,400				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	20,400				
	B. 執行済額		20,075				
	うち交付金充当額		15,650				
	次年度繰越額		0				
	執行率（%）(B/A)		98.4%				
予算の状況の説明		年度内で執行済み。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
	用地買収		24年度	25年度	26年度	27年度	
		目標	(用地買収)	()	()	()	
		実績	用地買収				
		目標	()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明	体験型・滞在型の観光振興強化を図る目的で当該年度は、受入基盤整備の用地を取得した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	用地取得面積	目標	()	(390㎡)	()	()	()
		実績		390㎡			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	受入基盤整備用地390㎡の取得を予定し、390㎡取得した。今後は、カヌー倉庫、研修室、シャワールームや駐車場などを完備した受入基盤の整備を進めていく。					

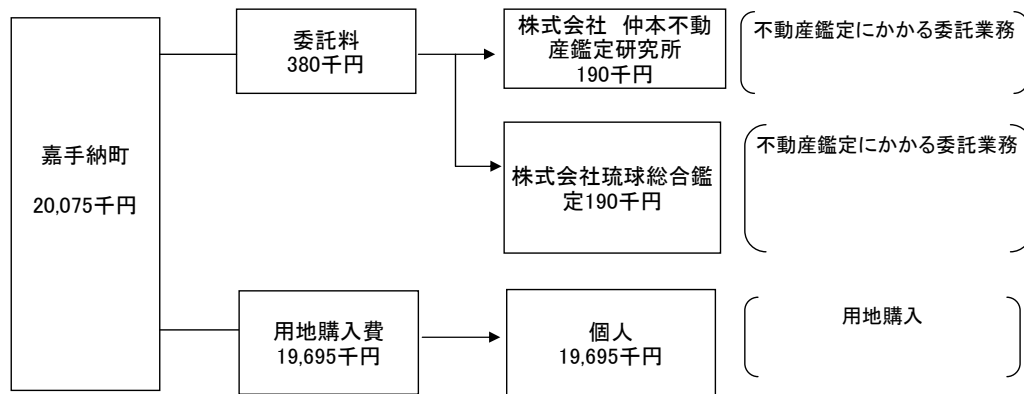
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	地域経済活性化のためには、行政主体でなく地域を巻き込んだ事業展開が必要である。	漁業関係者や付近住民の意見を当該事業へ反映させる。

今後の取り組み方針

意見交換会を開催し、漁業関係者や地域住民の意見を取り上げ、観光客集客に向けて事業を進めていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
20,075	20,075	15,650	4,425	0



資金の 使途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○土地の鑑定評価を2者に依頼し、その平均額で用地取得単価を決定しているので支出は妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限られているか。	

市町村名		嘉手納町					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	学習支援員配置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3-5-(4)-ア		
担当部課名	教育指導課	事業実施(予定)年度	平成24年～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	基礎学力向上対策の上で課題となっている算数・数学、国語、英語の基礎学力定着のため、チームティーチング、習熟度別授業、長期休業中の個別指導及び放課後の補習授業に必要な学習支援員を小・中学校へ配置した。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,631				
		(b) 予算現額	2,631				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	2,631				
	B. 執行済額		2,631				
	うち交付金充当額		2,000				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		当初の計画通り適正に予算の執行ができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	生徒指導支援者配置数 小学校:3人 中学校1人	目標	(小学校3人 中学校1人)	()	()	()	
		実績	小学校3人 中学校1人				
			目標	()	()	()	
			実績				
達成状況説明	町内の小中学校(屋良小学校に1人、嘉手納小学校に2人及び嘉手納中学校に1人)に学習支援員を配置した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)
	生徒指導支援者配置数 小学校:3人 中学校1人	目標	(小学校3人 中学校1人)	(小学校3人 中学校1人)	()	()	()
		実績		小学校3人 中学校1人			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	小学校においては算数の少人数授業及び放課後の補習指導を実施した。関わった児童数はクラス編成等により変わるが、学年単位・クラス単位でかかわることが多かった。持ち時間としては週当たり20時間を担当した。 中学校においては、英会話指導・個別の学習支援をおこなった。全学年の指導をおこなったことから関わった生徒は517名(全生徒)になる。持ち時間はTT指導で週17時間を担当した。					

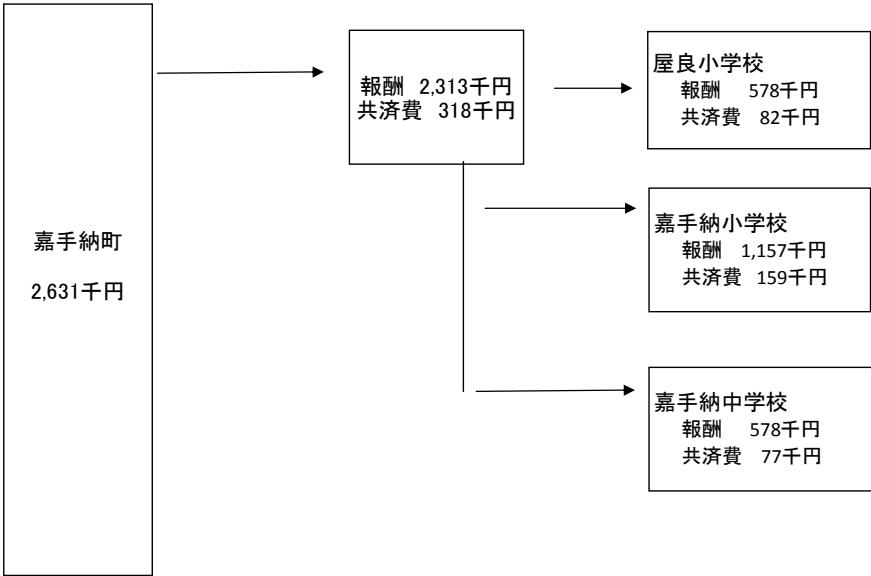
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>授業においてはT1、T2の関係で役割を明確化し支援にあたった。問題を解く時間には、分からない生徒への支援にあたるが、生徒のつぶやきを捨てることに細心の注意を払った。また、長期休業中の補習授業では参加した生徒が、分かる喜びを味わわせながら指導することを心がけた。</p>	<p>平成24年度の本町の学力において算数・数学、国語は課題であった。家庭学習ノートや、授業規律、忘れ物等授業以前の課題が有り、まずその点から共通理解を図り、支援員と指導にあたりたい。また、諸テストの確かなデータ分析を全体で確認し、指導方法に活かすことも今後は協議し改善を図りたい。</p>

今後の取り組み方針

- ・実施後の全国学力学習状況調査問題を学年を広げ取組ませる補佐を行う。特に授業ではモジュールとして取組むため、問題分析と授業への位置づけを補佐する。
- ・T2としての役割を明確にし、下位の生徒への支援を十分に行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
2,631	2,631	2,000	631	0



資金の 用途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	嘉手納町臨時職員管理規定及び嘉手納町嘱託員設置要綱に基づいて人材を委嘱しており、支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名 嘉手納町

平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-②	英会話指導員配置事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3-5-(4)-ア
担当部課名	教育指導課	事業実施(予定)年度	平成24年～33年度	国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)

事業内容

本町は平成22年度に教育課程特例校の認定を受け、英語教育に取り組んでいる。ネイティブスピーカーの講師が授業に参加することにより、日常的に英語に親しめる環境をつくるため、町立幼・小・中学校に英会話指導員を配置した。

実施方法

直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）	予算の状況					
	(a) 当初予算額	2,982				
	(b) 予算現額	2,982				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	—				
	A. 計 (b+d)	2,982				
	B. 執行済額	2,982				
	うち交付金充当額	2,300				
	次年度繰越額	0				
	執行率 (%) (B/A)	100.0%				
予算の状況の説明	当初の計画通り適正に予算の執行ができた。					

活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度
		英語指導指導員配置数 小学校:3人 中学校2人	目標 (小学校3人 中学校2人)	()	()	()
	実績	小学校3人 中学校2人				
	目標	()	()	()	()	
	実績					
達成状況説明	町内の小中学校(屋良小学校に1人、嘉手納小学校に2人及び嘉手納中学校に2人)に英会話指導員を配置した。					

成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
		英語指導指導員配置数 小学校:3人 中学校2人	目標 (小学校3人 中学校2人)	(小学校3人 中学校2人)	()	()
		実績		小学校3人 中学校2人		
	【参考指標】	目標	()	()	()	()
		実績				
進捗状況説明	小中学校において担任・英会話指導員のTTによる英会話授業に参加し、発音や授業補助といった取組をおこなった。ネイティブによる発音練習や英語音楽を取り入れたり、ゲームをしたり等、授業展開の工夫をおこなって英会話学習を進めることができた。持ち時間としては週17時間を担当した。					

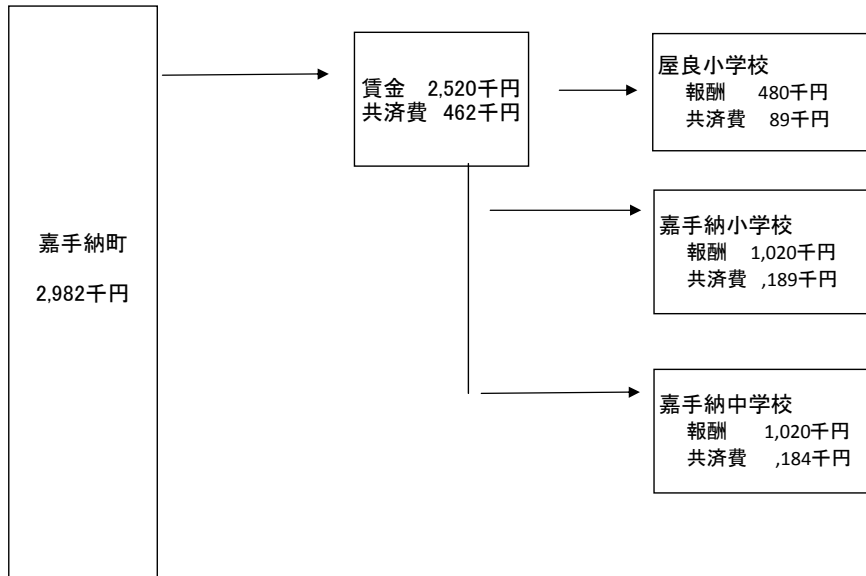
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	英語科の授業においては、教科担任と英会話指導員が連携しネイティブの指導員の発音を多用した指導した。それぞれの役割を明確にすることでより本物のシチュエーションを作り出し指導を行った。平成24年度の県到達度テスト及び全国学力学習状況調査においては英語科の成績はすべて県平均を上回った。	英語科においては教諭と支援員とが効果的な連携があったが、英会話指導員自身の指導力不足が指摘された。日本の教育方針や指導技術を十分伝える必要がある。今後は授業の支援と共に、英語検定を奨励し対策をする予定である。

今後の取り組み方針

- ・英会話指導員の指導技術を高める研修の実施。(教材の活用、適切なワークの導入、1時間の授業構成等)
- ・児童生徒の英語検定対策(中学校)

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
2,982	2,982	2,300	682	0



資金の流 れ、費 目・ 使 途 の 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○		支出先の選定方法は妥当か。	嘉手納町臨時職員管理規定及び嘉手納町嘱託員設置要綱に基づいて人材を委嘱しており、支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—		受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名 嘉手納町

平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

Table with 4 columns: 事業番号・事業名 (2-3), パソコン指導員配置事業, 沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 (3-5-(4)-ア), 国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築. Includes 担当部課名 (教育指導課), 事業実施(予定)年度 (平成24年~33年度), 沖縄振興基本方針該当箇所 (III-3-(1)).

事業内容 教科学習や総合的な学習の時間、特別活動の時間において教科担任と連携しパソコン指導にあたり、ICTを活用した授業の促進と情報化時代に対応できる人材の育成を図るため、町立幼・小・中学校にパソコン指導員を配置した。

実施方法 ■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他 ()

Table for budget and execution status. Columns: 24年度, 25年度, 26年度, 27年度, 28年度. Rows include (a)当初予算額, (b)予算現額, (c)増減額, (d)前年度繰越額, A.計(b+d), B.執行済額, うち交付金充当額, 次年度繰越額, 執行率(%)(B/A), and 予算の状況の説明 (当初の計画通り適正に予算の執行ができた。).

Table for activity goals and achievement status. Columns: H24活動目標(指標), 24年度, 25年度, 26年度, 27年度. Rows include 目標 and 実績 for 小学生2人, 中学校1人. Includes 達成状況説明 (町内の小中学校(屋良小学校に1人、嘉手納小学校に1人及び嘉手納中学校に1人)にパソコン指導員を配置した。).

Table for achievement goals and progress status. Columns: H24成果目標(指標), 基準値(23年度), 24年度, 25年度, 26年度, 目標値(年度). Rows include 目標 and 実績 for 小学生2人, 中学校1人. Includes 進捗状況説明 (小学校において週1時間の授業時間を確保し、その中で担任とともに操作的な指導や個別指導をおこなった。また、PC室の事前準備や掲示物作成といった授業前の準備等も行い、児童の活動がスムーズにいくな支援をおこなった。関わる児童は学校の全児童で、週約20時間(学校の規模により若干変わります。)をうけもった。中学校では1年生のPC指導を中心に、中2・中3は総合的な学習の時間・調べ学習等において担任とTTを組み授業補助をおこなった。持ち時間としては週10時間程度をTTで授業をうけもった。)

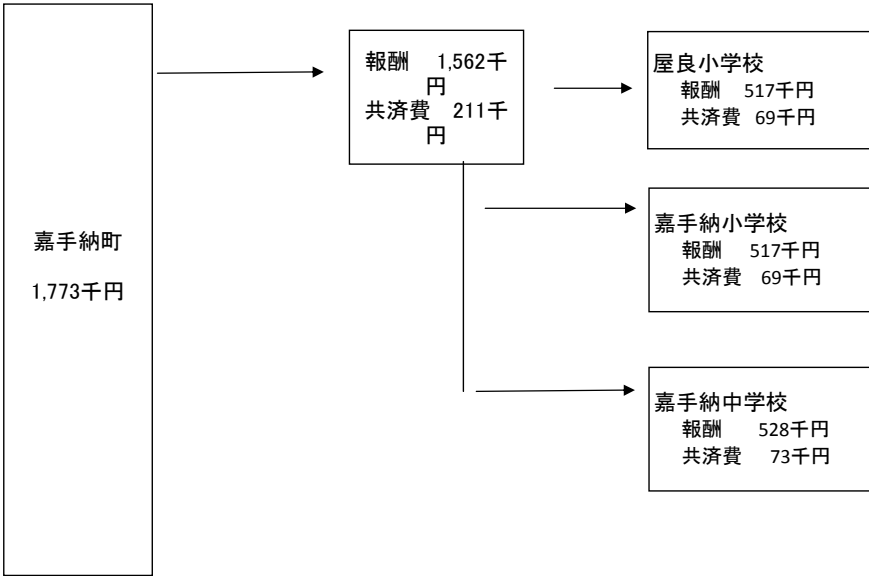
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	ICT支援員が担任や教科担当の授業補佐、授業支援をおこなうことで教育の情報化(児童生徒の情報活用能力の育成、学習指導におけるICT活用、校務の軽減)を推進しているが、以下の点で課題が見られる。 ア、事業の効果をどのような方法で検証するか。 イ、事業効果をあげるための情報収集や周知をどのように行うか。 ウ、機器整備計画と連動した支援員の効率的な活用をどのように図るか。 エ、機器整備計画と連動した支援員の効率的な活用をどのように図るか。 があげられる。	さらなる事業効果を上げるために、課題に対応した取組の視点を以下にあげる。 ア、事業効果を検証的データ(数値データ)でも検証できるようにする。 イ、事業の進捗状況把握や周知を図るための定期的な会議を開催する。 ウ、他部局との整備計画についての連携を図り、事前の研修や機器活用による効果性についての指標を作成する。

今後の取り組み方針

- ・小学校においては、キーボード操作能力を高めるためにキーボード操作検定サイト(キーボー島)の各学年目標級を設定し、達成に向けての取組を行う。
- ・中学校においてはパソコン検定の目標級を設定し、合格率を向上させるような取組を図る。
- ・定期で学校の情報担当・ICT支援員の連絡会を開催し、授業補佐・授業支援の状況・キーボード操作検定サイトやパソコン検定の進捗状況を確認し、指導助言を行う。
- ・連絡会において整備計画等についての周知を行うとともに、新しい機器の操作や効果的活用について研修を実施する。
- ・効果についてはPDCAのサイクルによる視点で検証を行い、次年度にむけての事業取組へ反映させる。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
1,773	1,773	1,300	473	0



資金の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	嘉手納町臨時職員管理規定及び嘉手納町嘱託員設置要綱に基づいて人材を委嘱しており、支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名 嘉手納町

平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-④	不登校対策生徒指導支援員配置事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3-5-(4)-ア
担当部課名	教育指導課	事業実施(予定)年度 平成24年～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築 Ⅲ-3-(1)

事業内容 継続的な支援活動及び支援体制を構築することで教育環境を充実させ、生徒の自己存在感を育み、基礎学力等の向上を図るとともに、個別指導や相談等を必要とする不登校生徒に対応するため、教職員を補佐する支援員を配置した。

実施方法 ■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他 ()

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a) 当初予算額	848				
	(b) 予算現額	848				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	-				
	A. 計 (b+d)	848				
	B. 執行済額	848				
	うち交付金充当額	640				
次年度繰越額	0					
執行率 (%) (B/A)	100.0%					
予算の状況の説明	当初の計画通り適正に予算の執行ができた。					

活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況				
		24年度	25年度	26年度	27年度	
	生徒指導支援者配置数 中学校:2人	目標	(中学校2人)	()	()	()
		実績	中学校2人			
	目標	()	()	()	()	
	実績					
達成状況説明	町内の中学校(嘉手納中学校に2人)に不登校対策生徒指導支援員を配置した。					

成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
		生徒指導支援者配置数 中学校:2人	目標	(中学校2人)	(中学校2人)	()	()
	実績			中学校2人			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
実績							
進捗状況説明	中学校において生徒指導補助として登校支援や担任とともに家庭訪問を行う活動を中心におこなった。また朝の登校時における声かけや教室内外の巡回・生徒指導主任とともに突発的な問題への対応も行った。生徒への関わりは登校支援を要する生徒をはじめ全生徒とのかかわりがあった。						

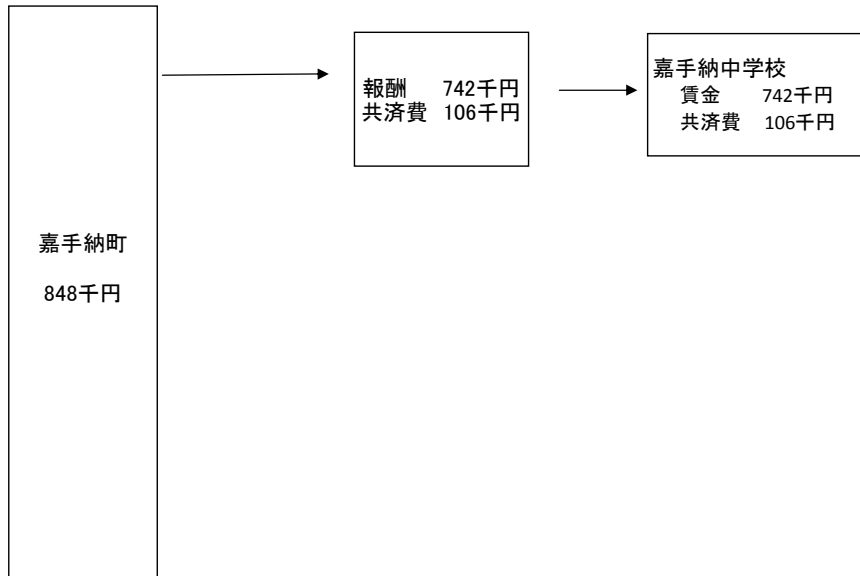
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>不登校生徒の家庭訪問を中心に登校指導を行い、時差登校の生徒については別室学習を行った。また、必要な生徒にはスクールカウンセラーとの連携を行った。平成24年度の不登校生徒数は、2小学校で3名、1中学校26名であり、中学校が最終的に課題が残った。</p>	<p>中学校不登校生徒には遊び型不登校が含まれるが、無職少年との繋がり非行化するケースが多々あり、今後の対策が必要である。中学校3年生の不登校生徒が、学年度末には出席出来るようになった。進路指導と関連づけ指導を行った成果であったと考える。支援員は学級担任に不登校生徒を繋ぐ役割を担い、登校復帰に繋がるケースがあった。</p>

今後の取り組み方針

- ・支援員が担任と進路指導に関する情報(進学又は就職)を十分に交換し、将来への希望を持たせ、登校への意欲喚起を行う。
- ・心的ダメージのある生徒についてはカウンセラーとの連携を行う。
- ・担任との連携で訪問相談を充実させる。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
848	848	640	208	0



資金の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	嘉手納町臨時職員管理規定及び嘉手納町嘱託員設置要綱に基づいて人材を委嘱しており、支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		嘉手納町					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	災害時避難場所表示灯整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ	
担当部署名	建設部 都市建設課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	社会リスクセーフティネットの確立 Ⅲ-10-(2)		
事業内容	<p>沖縄県は台風の常襲地域でもあり、自然災害を被りやすい地域であることから、災害により電力供給が停止し、夜間の防犯灯が災害時に不点になる恐れがある。 夜間の防災機能を強化し、災害避難時の町民及び観光客等の安心・安全を図るため、本町指定の避難場所の入口付近にソーラー照明灯を設置する。</p>						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	21,000				
		(b) 予算現額	21,000				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	21,000				
	B. 執行済額		21,000				
	うち交付金充当額		16,500				
	次年度繰越額		0				
	執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		当初の計画どおり、適正に予算の執行ができた。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	ソーラー照明灯設置工事の実施	目標	(10箇所)	()	()	()	
		実績	10箇所				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	目標としていた設置箇所すべてにおいて設置を完了することができた。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（H23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	避難場所へのソーラー照明灯設置（率）	目標	(44%)	(100%)	()	()	()
		実績		100%			
	【参考指標】		目標	(8箇所)	(18箇所)	()	()
	避難場所へのソーラー照明灯設置（箇所数）	目標		18箇所			
		実績		18箇所			
進捗状況説明	目標としていた設置箇所すべてにおいて設置を完了することができたことにより、防災機能を強化する事ができた。						

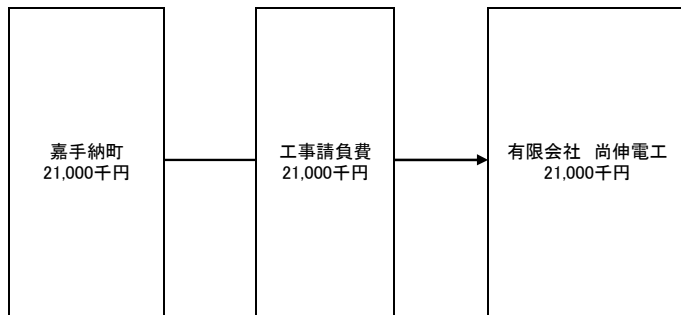
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	目標としていた設置箇所すべてにおいて設置を完了することができた。	目標としていた設置箇所すべてにおいて設置を完了することができたが、災害時において、機能が発揮できなければならないため維持管理を十分に行う必要がある。

今後の取り組み方針

災害時に設備が使用できるよう定期的に点検を実施する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
21,000	21,000	16,500	4,500	0



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事請負業者は入札により選定しており、妥当であったと考えている。 ○事業目的達成の観点から必要なものなのか等について書類により確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	